

降雪に対する農作物の管理について

令和5年1月26日
農業技術課

この先の天気予報によりますと、27日（金）は、南岸低気圧の影響で天気が崩れ、一時雪か雨の可能性があります。

南岸低気圧の進路によっては、積雪の可能性もありますので、最新の気象情報を確認し、積雪の場合は適切な対策を講じてください。

山梨県中・西部の天気予報（明後日までの詳細）											
2023年01月26日11時 甲府地方気象台 発表											
日付		今日 26日(木)				明日 27日(金)				明後日 28日(土)	
中・西部	天気										
	風	北西の風				北西の風 日中 南西の風				北西の風	
	降水確率(%)	00-06	06-12	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24		
		-	-	0	0	10	20	50	20		
	気温(°C)	朝の最低		日中の最高		朝の最低		日中の最高			
甲府	-		8		-2		6				

※最新の気象情報に注意してください。

◎降雪対策

○果樹

- ・加温中のハウスでは、降雪直後から二重カーテンを開放し加温を始め、融雪に努める。また、燃料についても十分補充しておく。
- ・加温前のハウスでは、谷や巻き上げたビニールなどへの積雪には注意し、積雪が増える場合には荷重バランスに注意しながら、速やかに除雪する。
- ・防鳥網を広げてある園では、防鳥網を除去する。
- ・棚栽培では、支柱などで補強するとともに、粗切り剪定を行い棚への着雪を少なくする。
- ・棚や施設に雪が積もった場合は、荷重バランスに注意しながら、できるだけ速やかに除雪する。
- ・立木類では、着雪による枝折れを防ぐため支柱などで補強を行う。

○野菜・花き

- ・加温ハウスでは、雪が積もる前から暖房機を稼働させるとともに、二重カーテンをあけて融雪に努める。
- ・無加温ハウスでは、補助支柱で補強し、積雪が多く予想される場合は、簡易ストーブで早めに加温し、融雪させる。
- ・カリフラワーなどのトンネル栽培では、積もった雪は早めに除雪し、押しつぶされる等の被害を防ぐとともに、トンネル内が加湿状態にならないよう換気を行う。
- ・スイートコーン等のトンネルの準備を行うほ場では、堆肥の散布による融雪対策等を行い、準備が遅れないようにする。
- ・未使用ハウスではビニールを巻き上げるか、除去し、積雪による倒壊を避ける。

なお、農業技術課HPに農業用ハウスと果樹棚の雪害防止対策指針（大雪に対する技術対策資料）を掲載していますので参考として下さい。

<https://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/kisyousaigai.html>